

2000誌

N I S E N S I

KAGOSHIMA ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF YOUTH GROUP

NISENSHI vol.42 2019 spring
2019年3月31日発行
発行：一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会

042 / 第42号



Before ▶ After

かごしま住まいと建築展 2018

建築の魅力と想いを伝える。若い担い手の増加へ向けて

- 三県合同懇談会
- 活動報告
- ・WEB 発信セミナー
- ・新春の集い

各部会報告 / 新入会員紹介 / 〈会員のイチオシ〉 member's Recommend

□ 築100年の古民家改修 - マル川建設株式会社
先人達の知恵を後世に残すことも私たちの仕事

REPORT

三県合同懇談会

02

SPECIAL REPORT

かごしま住まいと建築展 2018

01

鹿児島・熊本・宮崎の三県の青年部会が集い、お互いのレベルアップのヒントを得る機会となっている三県合同懇談会、今回は2018年11月10日に宮崎の地で開催されました。日中は「共立電機製作所」の工場を訪問し、建築工事にも関係する製品のラインや様々なアイデアが取り入れられた職場環境の見学を行いました。その後、懇談会が開催され、それぞれの青年部会の事業や取り組み、各県の建築業界の動向、経営者同士共通する課題について、活発に意見交換がなされていました。

2019年は鹿児島にて開催予定です。青年部会活動および社業の刺激となり、また、「せごどん」以後の鹿児島を改めて感じてもらえる機会となるよう準備をしています。

2019年は鹿児島開催!!



活動委員会では2018年10月に開催された「かごしま住まいと建築展2018」の中で、ブース出展と学生との交流会を行いました。ブース出展では鹿児島工科大学専門学校の協力のもと、明治維新150周年をテーマにした建築物である異人館の模型展示、また親子参加型で集成館のミニチュア製作を行いました。先生からも「模型製作で伝統的な工法を理解することができ、また就職を目前にした生徒にお客様と接する機会を作っていただき貴重な経験をさせていただきました。」とお言葉をいただきました。

学生との交流会では工業系の学科に通う学生100名近くの参加をいただき、VR体験と意見交換会を開催しました。今回は新しい試みとして学生の目指す建築の業種にグループ分け、その業種を得意とする会員に対して質問をぶつけてもらいました。学生の考えや本音を聞き出すことができ、また学生に対しては建築の「魅力」や建築の仕事に対する「想い」を伝えることができました。



かごしま住まいと建築展 / 学生との交流会



きたと思います。アンケートの結果、県内就職とUターン希望者が半数を超えており、会員企業に興味を示している方もおりました。これからの事業を地道に継続していくことで建築業への担い手増加につなげていきたいと思います。

建築の魅力と想いを伝え、若い担い手増加と地域の為に

03

活動報告



青年らしく
元気に活動中!

新春の集い

2018年11月28日、2018年度WEB発信セミナーを開催しました。当日は会員や会員企業の従業員の方等、24人が参加。担い手不足が深刻化する業界の課題に採用サイト等を用いた「求める人材」確保に向けた知識の習得を行いました。今回は、採用サイト大手のマイナビより、川島氏、広森氏にお越しいただき、新卒採用を中心に大卒・高卒へのアプローチの違いや、サイト構築における情報発信のタイミングや求められるコンテンツの解説また、土木建築業界に対する学生側が抱いているイメージや、面接担当者の印象が大切である事などの説明もあり、参加者は皆熱心に聞き入っていました。採用活動において幅広い情報を得る機会となったと思います。総務・IT委員会では、今後も新しい視点を加えながら、最新のITツールの活用や、業界の課題、各社の課題の解決の一助になるようなセミナーを継続的に実施したいと考えております。

2019年2月1日、鹿児島県青年団体新春の集いを開催いたしました。鹿児島島の各青年団体の方々と交流も3回目を迎えました。例年、青年部の新年会にお招きする形で行われていたが、今年度よりお招きするのではなく、各青年団体が集まり相互の情報発信や意見交換を図る場を、青年部会が主催して行う形にリニューアルしました。15団体29名、ご来賓として鹿児島建設新聞・福田一紀常務にもお越しいただき、総勢50名にて大いに盛り上がりました。鹿児島県中小企業家同友会青年部会・永田廣樹部会長からは、鹿児島島の発展と業種にとらわれない多くの経営者の方の交流の場となる青年部会となっているので、会員拡大にご協力頂きたいという挨拶や、その他の団体からも積極的なアピールがあるなど、活発な議論や意見の飛び交う集いとなり、新年の門出にふさわしい会となりました。



田島部長挨拶



マイナビ講師によるセミナー



建設業青年部会 西郷会長挨拶



鹿児島建設新聞 福田常務挨拶

OTHERS

安全運転を会社の利益として考える

日々企業活動を行う上で、自動車の運転は欠かせません。先日、自動車学校の担当者とお会いする機会がありお話しする機会がありました。経験が長くなるも自分でも安全運転しているつもりでも、いつの間にか気づかないクセや問題点があるようです。

一つの事故が、企業への損失に繋がります。信用や信頼を失ってしまいます。社員一人ひとりの意識改革を行うことで事故を未然に防ぐ活動は、企業にとっても経費削減にも繋がります。何より社員の資質向上や社員の家族を守ることも繋がります。安全運転について、今一度考える機会を設けるのも必要なことではないでしょうか。



『気づき』をテーマにした体験型安全運転研修
今回お話ししたマジオドライバーズの研修のご紹介です。「日本交通安全教育普及委員会」が認定するスーパーアドバイザーが安全研修を担当。安全教育をコストではなく、プロフィット（利益）の源泉として考え、企業の要望に応じた研修を実施しています。ご希望の際は2000誌発行委員までご連絡ください。ご案内致します。

青年部会長の務めさせて頂き、あっという間に1年が過ぎようとしています。今年度も青年部会員はもとより、皆様のご協力により様々な事業を開催できたことと実感しております。心から感謝申し上げます。

会員や会員企業の為には何か、建築業界の魅力も多くの方に知っていただくにはどうすればよいか、どうすればこの業界に入職してもらえるのか・・・等々、目の前に山積する課題を日頃から明確に見据え、常に時代にマッチした事業を計画し、実施していくこと。それが建築協会青年部の存在意義だと考えます。各委員長からの報告をご覧いただければおわかりになるように、今年度はそれぞれの委員会が常に目的意識を持ち、タイムリーなテーマでの事業開催ができていたのではないかと思います。

また、通年の課題であります新入会員の掘り起こしにつきまして、今年度は新たに3名の仲間が増え、会員数41名となりました。対象候補の方、若しくは、ご存知の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介いただければと思います。

これからは私も青年部会は、活発かつ有意義な青年部会活動になるよう取り組んでまいりますので、会員並びに関係各位の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

部会報告



一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会
部会長 田島 功輔 株式会社田島組

総務・IT委員会



ヤマグチ株式会社
山口 秀典

有意義な活動企画を実行

総務・IT委員長を務めさせて頂き、あっという間に1年が来ました。定時総会の運営に始まり、2000誌の発行、WEB発信セミナーの開催、新春の集いの開催、その他多くの活動をさせて頂きました。今まで一会員として参加していた多くの行事について、これまでの理事会メンバーの先輩方が、沢山の話し合いを重ね、計画を立て、準備を行ってきたからこそ楽しく有意義な活動に参加してこれたのだと改めて実感しました。来年度は、定時総会やWEB発信セミナーや新春の集い、2000誌をはじめ、青年部会員がより多く参加し、楽しさを感じ、有意義な時間として行けるよう、マンネリ化しない企画を立てて実行していきたいと考えております。

活動委員会



マル川建設株式会社
川原 大地

若い人材のフォロー体制づくり

活動委員会事業の柱でもあります青少年育成事業・・・事業の目的としては建築の魅力や伝え県内企業に就職してもらい担い手を確保すること。この事業をきっかけに新卒採用に結び付いた企業もあり、少しずつですが成果も出てきていると感じております。しかしそれだけでは目的の達成とは言えません。就職後のフォロー、若い芽を育てるための体制づくりが重要と考えます。その為にこれまで蓄積されたアンケート結果などから学生や先生がどのような考えを持っているかを検証し、その情報を共有する。そして各社の教育方針の参考資料に使っていただく。2019年度はその部分まで踏み込んだ活動をしていきたいと考えております。ご安全に。

会員研修委員会



内村建設株式会社
内村 明高

会員の個性を活かす為に

会員研修委員会では三県合同懇談会の取りまとめを行いました。近年、三県の青年部会の交流は活発になっており、「かごしま住まいと建築展」の展覧を見学に訪問いただいたり、私たちが訪問する動きも出てきたりしています。青年部会活動は地域性に加え、会員個々の個性が大いに影響しますので、他県の会員と交流しアイデアをもらうことは大変意味のある事と考えます。また、鹿児島島の会員が個性をもっと活かせるよう、研修などの機会を通して、サポートをしていきたいと思っております。

member's Recommend vol.2

株式会社今給黎建設 今給黎 政幸



花を身近に感じる暮らしもいいもの。

最近、外出先やホテルのロビーにある素敵なお花が気になります。お花の事は詳しくないし、親から教わる機会も少なかったのですが、年齢を重ねるうちにその香りや美しさを感じながら、四季の移ろいを楽しむようになりました。

先日、お花屋さんの勧めで購入したランタンキュラスがとても色鮮やかで、周りの雰囲気や気分も明るくしてくれます。これから春になれば、赤や白のサンパチエンスの鉢植えや、上品な淡いピンクのサクラが楽しみです。嫌な事を忘れて、心を穏やかにさせてくれる、そんなお花を身近に感じる暮らしもいいものです。

文・写真 / 今給黎 政幸



New member introduction ~ 新入会員の紹介 ~



株式会社佐々木組
佐々木 祐輔
ささき ゆうすけ



株式会社川原建設
塚田 哲也
つかた てつや

青年部会に新しい仲間が加わりました。会員の皆様宜しくお祝い致します。

コラボのお誘い /

青年部会では、学校関係の皆様や異業種の団体等幅広く一緒に活動したいと考えています。鹿児島県の活性化に繋がる活動と一緒に企画していきましょう。当青年部会に、いつでもお気軽にお問い合わせください。

青年部会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問合せください。

発行：一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会
鹿児島市城山町 2-13 TEL / 099-224-5220
mail : info@kagoken.net

編集後記

今給黎さんより、花を愛する記事を書いて頂き、「カッコイイ大人は花にアンテナを伸ばすのか。」と感じたはいいが、今まで全然興味を示さなかった自分には、その後も花屋に行ってみることもなく、まだ大人への道は長そうです。最近、田村耕太郎著の「頭に来てアホとは戦うな！」という本を読みました。とても面白く、考え方を見直す機会になったので、皆さんも一度手にとって読んでみてください。